



令和3年度  
大田区立馬込第二小学校

学校経営方針

# 本校の教育目標

◎心豊かで思いやりのある子

○よく考え工夫する子

○健康でたくましい子

◎は今年度の重点目標

# ◎心豊かで思いやりのある子

自他の思いを考えられる子に育てたい。

自己肯定感をさらに高め、

その根拠となる思いをもたせる。

- 成就感（わかった）
- 達成感（できた）
- 存在感（認められた）

# ○よく考え工夫する子

学力向上だけでなく

自己解決力

(問題を解く手立てが考えられる子)

意欲力

(言う気、やる気、確かめる気)を高める。

# ○健康でたくましい子

体カテストの結果を見童自らが感じ、  
自己の体力を高めようとする気持ちを育てる。

姿勢を維持する力  
怪我に強い体

**【令和の日本型学校教育】の構築を目指す  
中央教育審議会答申を受けて R3.1.26**

- ◎ **主体的な学びにむかって取り組む学習指導  
ICT器機を効果的に活用  
一人一台 タブレットを貸与  
持ち帰って、家庭での学習にも活用**

**校内研究**

**(仮題) 考えよう やってみよう 伝え合おう  
～ICT器機を効果的に活用した指導の工夫～**

## ◎ 学習指導

学力の向上、特に基礎、基本の徹底とともに、  
活用する能力の向上にも努める。

そのためには、

知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力の育成

学びに向かう力等を身に付けるための指導計画  
児童の意欲を高める授業づくり学年ごとに系統性  
をもった学習姿勢を身に付けさせる。

## ◎ 学習指導

コロナ禍におけるICT機器を用いた  
オンライン形式の授業を視野に。

今、取り組んでいくことは

### ◎活用習熟の確認

タブレットによる確認テスト等  
算数ステップアップ学習のデジタル化

### ◎授業展開

デジタル教科書や書画カメラの活用



## ◎ 学習指導

国語・算数は、他の教科の基礎ともなる。

問題を解く手立てが考えられる

既習内容を活用させる学習指導

### ・習熟度別指導（算数）

少人数によるグループ指導

希望制による指導を原則として児童一人ひとりの  
実態に則して担任、学年、少人数担当が協議し、児童と  
確認をして適切な指導をする。

## ◎ 学習指導

### ・スパイラル的な指導

言語活動（言葉、漢字、計算）は繰り返しの学習が必要  
（育活動全体を通して指導をすすめる）

### ・東京ベーシックドリルの活用

卒業までに全員が4年生までの学力を付ける。

1～3年生は、

当該学年の診断テストの7割の習熟を80%

身に付けさせる。

目標達成のために、確認シートをもとに土曜日の補習や  
夏季休業中に必要に応じて各児童に課題として提供

## ◎ 生活指導

### コロナウイルス感染症対策

◎ 感染予防のこれまで以上の徹底

◎ 万が一の感染による人権的な配慮としての事前指導

◎ 道徳の授業で…

### 漫画的資料の活用

「まるでウイルスみたいに…」

「相手の今を思うと…」





夫よ  
とよ  
の



僕のお母さんは  
看護師をしている  
毎日帰りが遅くて  
少し寂しいけど...

人のために働く  
お母さんは  
やっぱりすごいな



遅くて  
ごめんね  
もう  
ご飯食べた？

...うん  
お母さんこそ  
体、大丈夫？



...今  
忙しいから  
ごめんね...



はるき  
...これ



えいた  
これた  
借りつばなし  
だった本  
ごめんな



いい  
いいよ



え？  
...なんで



スマートフォン向けアプリもご利用ください。



ココロ空模様  
チェック



簡単なストレスチェックができるアプリです。都いじめ相談ホットラインに電話をかけることができます。

下記の外部サービスからダウンロードできます。



ココロストーリー

(いじめ相談・SNS)



いじめや、SNSについて9つのストーリーを通して考えるアプリです。

下記の外部サービスからダウンロードできます。



SNSルール  
リマインダー



SNSのルールを登録するアプリです。通知でルールを思い出すことができます。

下記の外部サービスからダウンロードできます。



PR動画

外部サイト (Youtube) で紹介動画をご覧になれます。



子供たちの悩みに答える三つのアプリとWEBサイト

## ◎ 生活指導

### コロナウイルス感染症対策

いじめの未然防止、いじめの早期発見及び

いじめへの対応のための対策について

学校の責務及び地域住民の役割を明らかにし、

「いじめ防止対策推進条例」（令和3年4月1日施行）に

基づく、対策を講じるために、いじめ対策委員会を

即開くことをすすめていく。

◎ **生活指導**  
**生命尊重を基軸とした人権尊重教育**

**全教職員が特別支援教育を意識した学年・学級経営を。**

**学校生活は、集団生活が基本。**

**様々な考えをもつ友達とどのように接していくか、  
各学年の発達段階を踏まえた指導をする。**

## ◎ 生活指導

### 生き生き度の測定

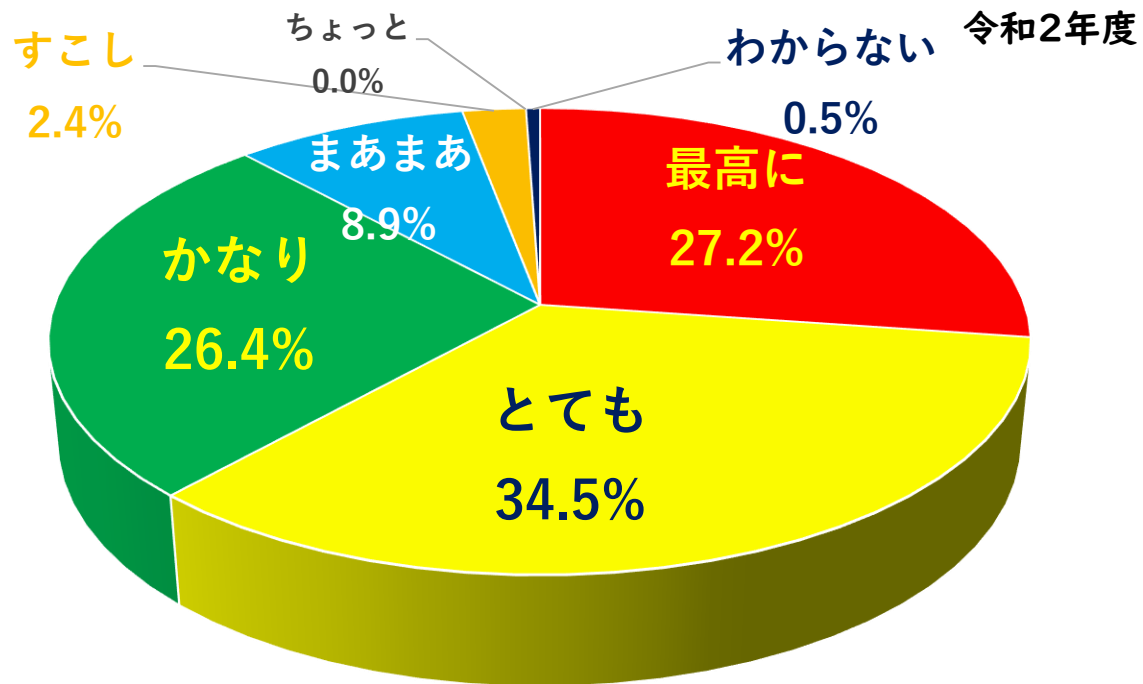
- ◎ 17項目について「今」の状況を数値化して「最高に」「かなり」「とても」「まあまあ」「すこし」「ちょっと」の6段階に6段階で見ると・・・（令和元・2年度の比較）



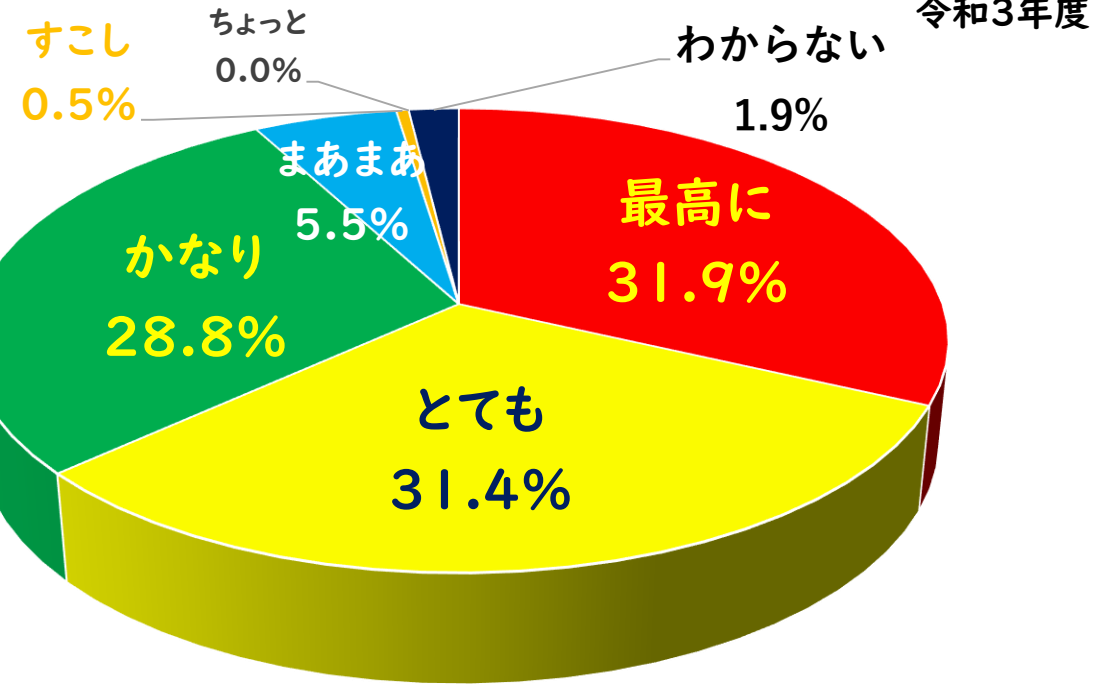
# ◎ 生活指導

## 生き生き度の測定（令和2・3年度の比較）

### 02 馬二小の生き生き度は



### 03 馬二小の生き生き度は



◎ **生き生きとした学校・・・**

**教職員及び児童対象に生き生き度を計る。**

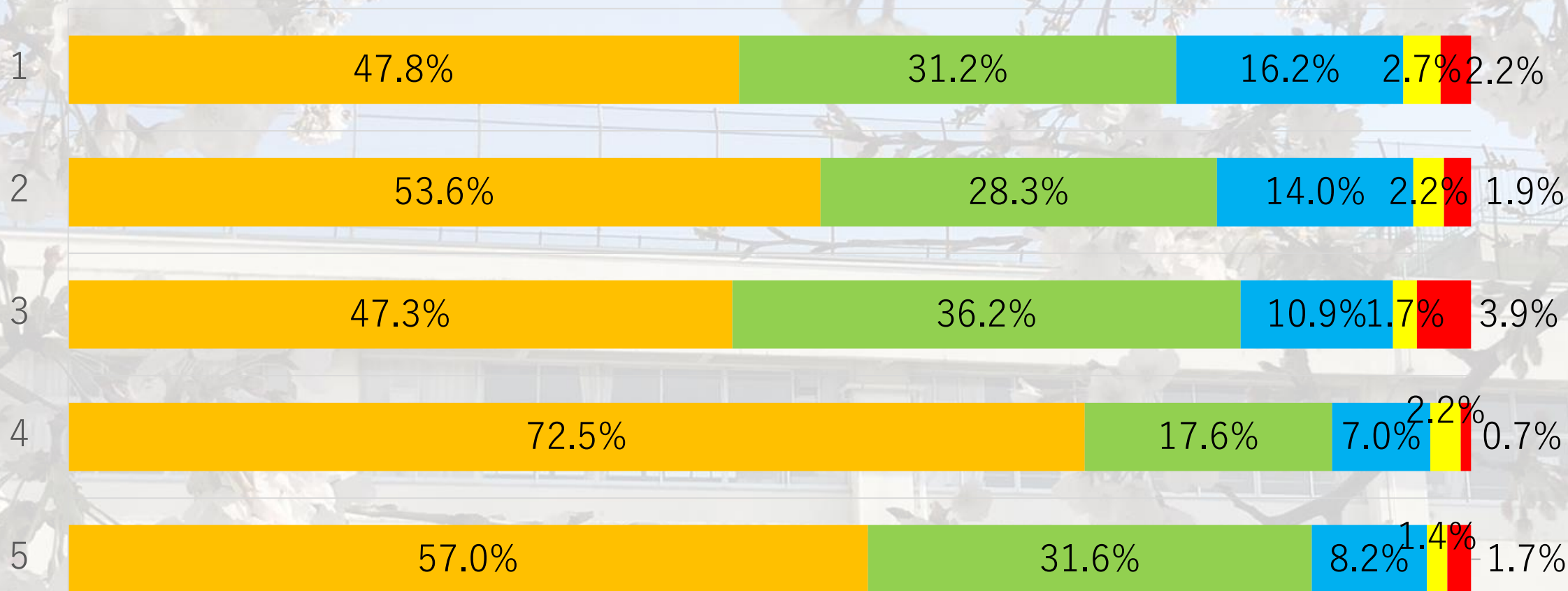
**17項目を確認。**

**実践と意識の強化を。**

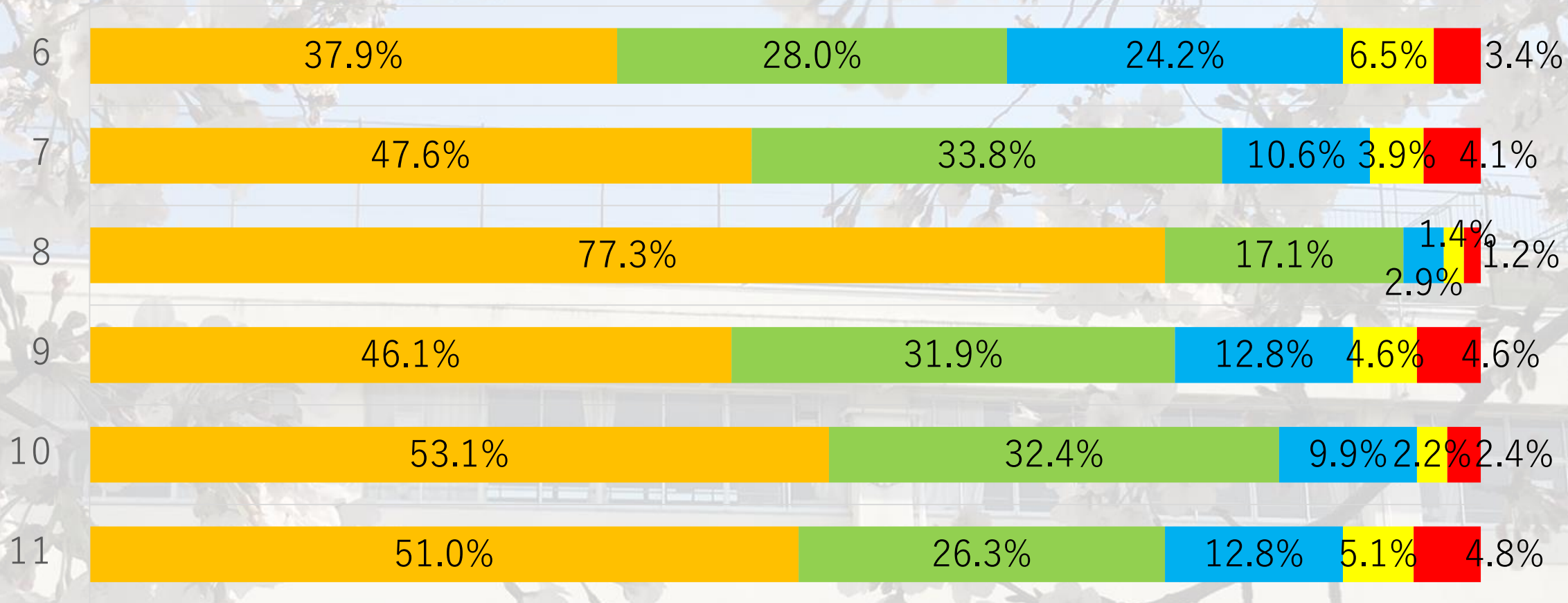
**各項目をみると・・・（令和元・2年度の比較）**

令和3年度（一学期） 生き生き度 項目別割合

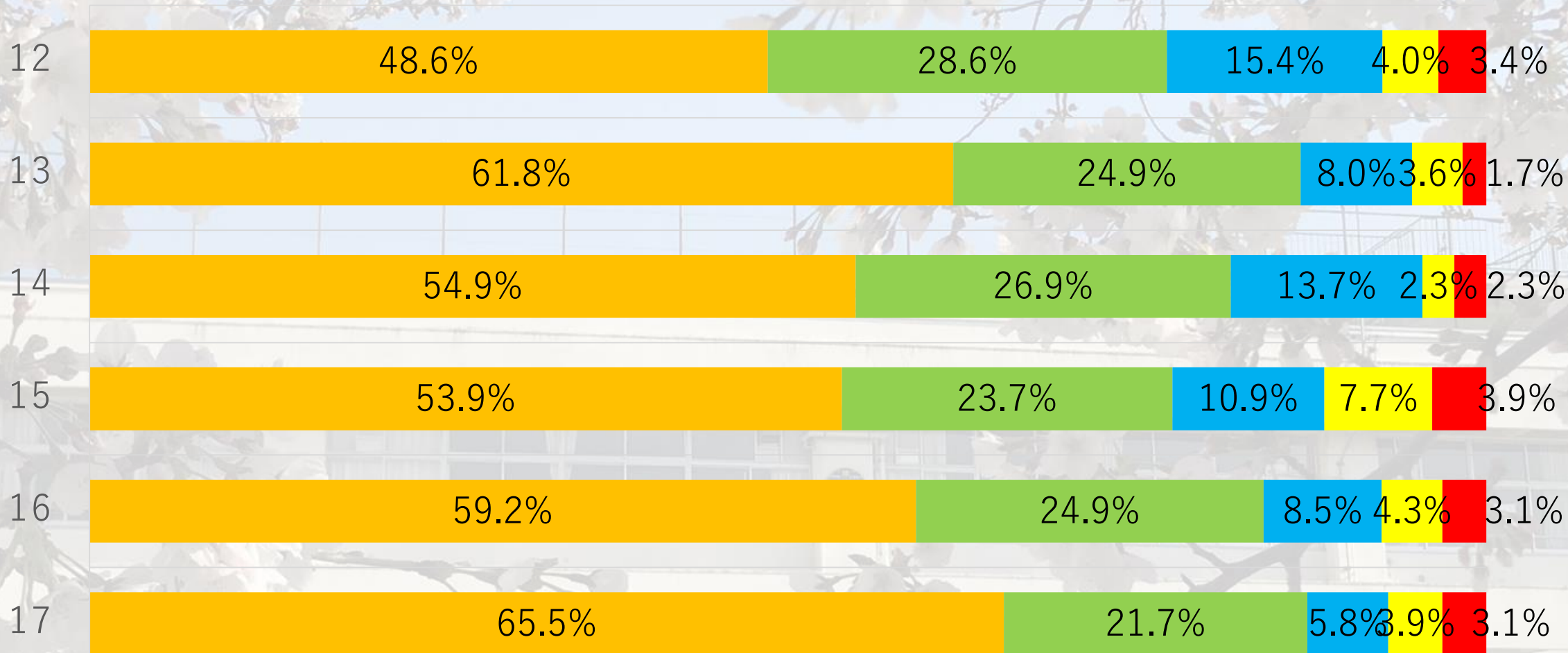
- 4 している・できている
- 3 しているほう・できているほう
- 2 あまりしていない・あまりできていない
- 1 していない・できていない
- 0 わからない



- 4 している・できている
- 3 しているほう・できているほう
- 2 あまりしていない・あまりできていない
- 1 していない・できていない
- 0 わからない



- 4 している・できている
- 3 しているほう・できているほう
- 2 あまりしていない・あまりできていない
- 1 していない・できていない
- 0 わからない



- 1 いつも、早寝・早起き・朝ご飯を行っています。
- 2 元気にあいさつや返事をしています。
- 3 自分の力で行動しようとしています。
- 4 体を動かして遊ぶことを楽しんでしています。
- 5 勉強や遊びを最後まであきらめないでやろうとしています。
- 6 自分の思いや考えを伝えることができます。
- 7 相手の思いを考えようとしています。
- 8 協力し合い、友達と一緒に遊んでいます。
- 9 自分の気持ちを整理する力をもっています。
- 10 約束や決まりを理解し、守っています。
- 11 地域の人とのかかわりを大事にしています。
- 12 感じたことや考えたことを自分なりに表しています。
- 13 絵本や物語に親しみ、想像する楽しさを味わっています。
- 14 美しいものや心を動かす出来事に触れ、感じる心やイメージを大事にしています。
- 15 遊びや生活に必要な言葉を知り、状況に応じて使います。
- 16 身近な環境にかかわり、発見を楽しんだり考えたりしています。
- 17 栽培や飼育活動を通して生命の尊さに気付きます。

・教職員・・・チーム馬込第二小。

教職員の笑顔、楽しみ方、互いの協力

・児童・・・学校生活が楽しい。

子どもとの語りや一緒に遊ぶ

(教員は児童理解の徹底を図る)

・保護者・・・我が子が元気に学校に行く。

笑顔で送り、迎える

・地域・・・学校教育に協力したいと思う。

地域との連携を密に

## ◎ 生活指導 馬ニスタンダードの確認を

- ・あいさつ、思いやり、感謝、奉仕
- ・早寝・早起き・朝ごはんの徹底
- ・学年または低・中・高学年での取組を考えていく。
- ・忘れ物“0”を目標

ご確認ください（校外での出来事ですが・・・）

エアガンによるトラブルが毎年起きています。

怪我、貸し借り ぜひ、使用の禁止をお願いします。



## ◎ 生活指導

・安心、安全の徹底

SNSルールの再確認（**学校ルール**→**家庭ルール**）

怪我や事故も含め、教職員が危機意識をしっかりと持ち、児童が安全に過ごせるように努める。

PTAの方々や地域の方との連携を密にして、地域での安全にも啓発をしていく。

児童一人ひとりに対しても「自分の身は自分で守る」を念頭に交通安全、防犯、防災の指導を心掛ける。

各家庭においても自身の子供だけでなく、身近にいる子に対しても我が子同様に見守るように啓発をする。

◎ **生活指導**

・ **学校緊急メール配信システムの活用**

**地域でのセキュリティー強化、  
学校からの緊急連絡等を配信。**

**行事等の実施に関すること  
各学年からの連絡 等**

**そのために登録をお願いします。**

**(各学年の登録率を算出)**

◎ **新しい時代の特別支援教育の在り方に関する  
有識者会議の報告を受けて（R3.1月）**

- **基本的な考え方**
- **障害のある子どもの学びの場の連携**
- **教師の専門性**
- **ICT利活用等による特支教育の質の向上**
- **関係機関との連携による切れ目のない支援**

## ◎特別支援学級への理解

- ・当該保護者との連携
- ・各学年・学級との交流の中で  
子ども同士のかかわりを深める。
- ・障害のある子どもの学びの充実

## ◎特別支援教室の利用

- ・友達とのかかわり方が分からず、困ってしまうことがある。
- ・まわりのことが気になりすぎて集中できない。
- ・イライラすることが多く、落ち着いた生活が中々できない。  
など、個々の適性に合った指導をすすめる。

### 自立への支援

対象児童の実態を特別支援コーディネータとともに  
関係機関を含めたケース会議を実施して検討。

単に学習の遅れを補うものではありません。

日頃のお子さんの様子を

担任と巡回指導教員、専門員と連携